

編集後記

「Santen Report 2022」発行にあたって

Santen Report 2022をご覧ください、ありがとうございます。

2022年度は、中長期的な成長に向けた収益性の向上が当社にとっては喫緊の課題と認識しています。よって、本レポートにおいてはこの課題に対する考え方や取り組みを軸に構成しました。もちろん、長期的な企業価値向上のための戦略実行力と想定すべきリスク、ESGについても、社外の視点も織り交ぜながらお伝えできるように工夫しています。

具体的には、戦略実行面で各地域の事業環境や強み、特に日本事業の強みの源泉やさらに成長していくための施策、中長期的な成長を支えるパイプライン、資本効率と収益性向上を支える財務施策などについてあらためて整理し紹介しています。

非財務情報の面では、ESGマテリアリティのKPIとその進捗を開示しました。取締役会の実効性向上に向けた具体的な取り組み、リスクの記載などのコーポレート・ガバナンス情報の充実を図るとともに、今年6月に賛同したTCFDを含む環境への対応、医療アクセスの向上や人材戦略などについて記載しています。

作成にあたっては、投資家やステークホルダーの皆さまとの対話の中でいただいたご意見を参考にするとともに、プロジェクトメンバーと各エリアや機能のメンバーが協働しながら、引き続

き、「社員の顔が見える、目の領域のスペシャリティ・カンパニーとしてのSantenらしいレポート」を意識しております。

表紙には、世界各国の社員から集めたフォトコンテストの写真も使用しています。

本レポートの制作プロセスが正当であり、記載内容が正確であることをここに表明いたします。本レポートが皆さまの当社に対するご理解と対話を深めていただくための一助となりましたら幸いです。

また、私たちは「国連グローバル・コンパクト」を継続的に支持しています。国連が提唱する人権、労働、環境、腐敗防止の4分野における10原則を日々の事業活動に組み込み、持続可能な社会の発展に向け、取り組んでいきます。

私たちは、これからもステークホルダーの皆さまとの建設的な対話の機会を大切に、適切な情報開示を行いながら、社会への貢献と企業価値の向上に努めてまいります。

統合報告書を含む今後の対話のさらなる充実のため、ぜひ皆さまの忌憚のないご意見をお寄せいただけますと幸いです。

代表取締役社長兼CEO

伊藤 毅

Santen Report 2022 制作メンバー

IR室 / ESG推進・コミュニケーション部
板垣・佐久間・赤尾・田中・井上・永翁・加治屋・洞

問い合わせ先
IR室 (ir@santen.com)

参考ガイドライン

IIRC「国際統合報告フレームワーク」、GRI「サステナビリティ・レポート・スタンダード」、環境省「環境報告ガイドライン」、経済産業省「価値協創のための統合的開示・対話ガイダンス」

会計基準に関する注意事項

当社グループでは、財務情報の国際的な比較可能性向上を目指し、2014年度より国際会計基準 (IFRS) を適用しています。なお、2013年度の諸数値をIFRSに組み替えて比較分析を行っています。日本基準とIFRSの主な差異およびコアベースの定義については当社ウェブサイトをご覧ください。



9月12日に開示したCEO交代に伴う内容の見直しにより、発行が予定よりも遅れてしまいましたことをお詫びいたします。